

令和5年度第4回函館方面森警察署協議会議事概要

1 開催日時・場所

- ・ 令和6年2月16日（金）午後1時30分から午後3時00分までの間
- ・ 函館方面森警察署 会議室

2 出席者

- (1) 協議会委員 5名（定員6名）
- ・ 会長 蛭沢 彰 則
 - ・ 副会長 高橋 恵 子
 - ・ 委員 川村 昌 代
 - ・ 委員 根本 あけみ
 - ・ 委員 瀧澤 静
- (2) 森警察署員 5名
- ・ 署長 馬場 恵 吾
 - ・ 副署長 佐々木 茂
 - ・ 刑生課長 小澤 豪
 - ・ 地交課長 和泉 慎太郎
 - ・ 警備課長 渡邊 一 弘

3 協議会会長挨拶

4 警察署長挨拶

5 警察署長による警察活動の概況説明

署長から令和5年12月末の刑法犯認知・検挙状況、交通事故発生状況、警察相談受理状況等について説明があった。

6 協議事項

- (1) 令和5年度第3回森警察署協議会の際に委員から挙げられた要望

- 『熊対策』について
本件諮問事項である『災害対策』に合わせて『熊対策』についても説明して欲しい。

【説明】 地交課長

昨今、道内各地でヒグマによる人身被害が発生しており、ヒグマ対策は住民の関心が高く、不安の強い事項であると認識しております。

当署管内においても、令和5年中、人身被害の発生は把握していないものの、自治体からの情報提供を含めると、合計92件、年平均にすると約4日に1回の頻度でヒグマの出没情報を認知し、その対応に当たったところであります。

これらを認知した場合、基本的に当署では、速やかにパトカーを現場臨場させ、周辺住民等への注意喚起や警戒警らを実施しているほか、広く住民に周知させるために報道機関へ迅速に情報提供するなど効果的な広報活動を実施しております。

また、住民に対する講話や啓発活動を積極的に行い、被害防止対策の周知を図っております。

さらには、自治体が開催するヒグマ対策会議に出席し、関係機関・団体等との情報共有や連携強化を図っているほか、日頃から勤務員のヒグマに関する知識を高めるための教養や法律を適用した駆除方法などの各種訓練を実施し、対応能力の向上に努めているところであります。

警察署では、引き続き住民に対しまして、防災無線等を活用した事前のヒグマ出没情報の確認、食べ物やゴミは必ず持ち帰る、足跡や糞を見たら引き返すなどの自己防衛行動を取っていただくべく被害防止対策の周知を図るとともに、最悪を想定した迅速なヒグマ対策を講

じ、地域住民の安全確保に取り組んでまいります。

(2) 諮問事項『災害対策』について

警備課長から、本協議会における協議事項である『災害対策』について映像を使用した説明があった。

(3) 質疑応答等

- ・ 委員 我々地元の住民は、正常性バイアスの働きもあって、安易に大丈夫だろうと思ってしまうが、今地震に伴う津波の危険性や駒ヶ岳の噴火について説明していただき、改めて危機感を持ちました。
- ・ 委員 今年の1月1日の地震の時に森町の防災無線で避難するように呼び掛けがあったので、私は役場に避難したが、町内の方に「(避難しなくても)大丈夫だろう」と言われた。
やはり一般の方はそのような認識なのだと感じた。
若い人の方が素早く避難しているようだった。
災害の発生ということで大変であったが、有事の際の動きを再確認することができたと思いました。
- ・ 警備課長 森町では注意報だったので、警戒心が薄かったようです。
津波が発生した場合、噴火湾特有の動きで局所的に高い津波が来ることも予想されます。
一人でも多くの人が素早く避難できるようにしていきたい。
- ・ 委員 このような防災講話があるから意識できるのだと思います。
防災講話は、どのくらいの時間があればできるのでしょうか。
- ・ 警備課長 一般的に講話だけであれば20分くらいでできますし、災害図上訓練であれば1時間くらいです。
時間は御都合に合わせてどのようにも調整できますので、御希望の時間を教えてください。
- ・ 委員 以前、森警察署の方に職場で防災講話をしていただいたことがあり、とても勉強になりました。
私たち大人だけではなく、小中学生などにも講話をしているのでしょうか。
- ・ 警備課長 小中学生の職場体験などで警察署に来ていただいた機会を利用して講話や災害図上訓練をしています。
- ・ 委員 とてもいい内容なので、いろいろな機会を通じてもっとたくさんの方に講話をしていただきたい。
- ・ 委員 以前、私がしていた仕事で、100～120名くらいの子供をネイパルに集めて防災キャンプというイベントを行ったことがあります。
ペットボトル1本だけの水で歯磨きなども全て行えるかだとか、食事に使用した食器を紙で拭いて使ってみるなどの体験を子供達と楽しみながら学ぶことができた。
このような機会にぜひ出向いてもらって防災講話をして欲しいと思います。
- ・ 警備課長 そのような機会があれば、こちらとしてもぜひとも講話を実施したいと思っています。
今後もし予定がわかりましたらぜひ教えてください。

- ・ 委 員 災害が発生した場合の避難場所についてですが、男女をしっかりと区分して欲しいのです。
東日本大震災の際にも避難所での性被害がたくさんあったと聞きました。
女性がトイレに行く際は、一人で行かずに気を付けて下さいと言われていたらしい。
どうして震災という情勢下でこんなことが起こるのかと思います。
子供や女性が怯えながら避難しなければならないということが無いようにして欲しいのです。
- ・ 警備課長 過去の震災現場では警察官が被災者の救助と平行してパトロールを実施しています。
特に子供や女性が避難所で安全に過ごせるようにパトロールをより強化していきたい。
- ・ 委 員 災害が発生した時は、ボランティアの志望者から役場に連絡が来るが、警察署にもそのような連絡が来たりしますか。
- ・ 署 長 本部の方はわかりませんが、警察署にそのような連絡が来たことはありません。
- ・ 委 員 わかりました。

7 防災グッズの閲覧

先月には能登半島地震が発生しており、いつ大規模災害が発生するかわからない状況である。
また、当署管内には活火山である駒ヶ岳もあることから、有事に備えて実際に職員が準備している防災グッズを委員の皆様にご覧いただき、その必要性や有効性を確認した。

8 次回諮問事項

次回の諮問事項は、「交通事故抑止対策」に決定した。

9 次回開催予定

令和6年6月頃を予定